

# 令和4年度 第9回教育委員会 議事録

## 1 開会及び閉会の日時

令和5年3月14日（火）午後2時～午後3時30分

## 2 場所

本庁舎 302会議室

## 3 出席委員

- ・教育長 松本 謙一
- ・同職務代理者 高坂 真理
- ・教育委員 林 紀孝
- ・教育委員 中川日登美
- ・教育委員 藤原 洋

## 4 説明出席者

- ・教育部長 村上 紀道
- ・教育部次長生涯学習スポーツ課長 鵜野 幸男
- ・教育総務課長 氏家 智伸
- ・こども課長 溝口 早苗
- ・中央図書館長 武島 朗子
- ・教育センター所長 山田由紀子
- ・文化・世界遺産課長 上野 容男
- ・高校総体スキー推進室長 平本 光一
- ・教育総務課副参事 吉尾 徹
- ・教育総務課主幹 金谷 諭
- ・教育総務課主幹 保市のり子
- ・教育総務課主事 村井 美緒

## 5 傍聴者 無し

## 6 会議の要旨

午後2時、教育長が開会を宣し、議事に入る。

### 1 教育長の報告

- 2月11日（土）午前…なんとキッズライツ DAY への出席  
午後…中学校部活動の地域移行・拠点校化説明会への出席
- 2月16日（木）第3回図書館協議会への出席
- 2月20日（月）平中学校ふるさと教育市長への提言の参観
- 3月7日（火）第6回利賀地域義務教育学校設置協議会への出席  
等を行ったことを報告した。

### 2 前回議事録の承認

全員異議なく承認した。

### 3 協議事項

- (1) 令和5年度南砺市教育委員会重点施策（案）について  
各担当課長から説明を行った。
- (2) 南砺市教育委員会規則及び告示の全部改正、一部改正及び廃止について  
各担当課長から説明を行った。

### 4 報告事項

- (1) 令和4年度1月会議の要旨について  
各担当課長から説明を行った。
- (2) 令和5年度南砺市研修計画について  
教育センター所長から説明を行った。
- (3) 南砺市型学校司書モデル事業について

中央図書館長から説明を行った。

## 5 その他

- (1) 南砺市いなみ国際木彫刻キャンプ2023について  
文化・世界遺産課長から説明を行った。
- (2) 常陸宮賜杯第73回中部日本スキー大会総合成績について  
高校総体スキー推進室長から説明を行った。
- (3) 南砺市立図書館3月の事業について  
中央図書館長から説明を行った。

## 6 今後の日程

次回教育委員会開催（予定）

日時 令和5年4月12日（水）午前10時

場所 本庁舎 302会議室

## 7 議事

協議事項について

### 協議事項（1）関係

○林 教育委員 重点施策の文章中で、コロナウイルス感染症対策の「推進」という記載箇所がいくつもあるが、こちらは世の中のコロナウイルス感染症対策緩和の考えと逆行した記載のようにも感じる。

○村上 教育部長 「推進」という記載については、再検討を行い、修正する。

○藤原 教育委員 この重点施策を見ると、こども課の内容が入っているが、来年度から教育部から総合政策部に部署移動があることも考えると、この重点施策の内容からは除くべきではないのか。

○村上 教育部長 令和2年度～6年度までは、現在の第2次教育振興計画を継続して行うため、その間の変更は考えていない。

しかし、次の第3次計画策定時は、関係課長・教育長と相談の上、こども課の施策で教育関係にあること、教育関係でないことを分け細かく整理・検討し、記載の仕方も修正していきたいと思う。

### 協議事項（2）関係

○藤原 教育委員 9ページの南砺市教育支援センター設置要綱の第4条第2項中で、「前項に規定するもののほか、南砺市教育委員会が必要と認める者も対象とする。」という記載がある。

主に支援センターでの支援対象は義務教育の年齢が対象となると思うが、この第4条の記載があることで、義務教育が終了した児童についても支援対象とすることができるという認識でよいか。どのような場合を示しているのか教えてほしい。

○山田教育センター所長 そのことについて、例外的に認めた実例としては、他市から入級希望があった際に受け入れたというような事例がある。

委員のおっしゃるように、もし今後、義務教育の年齢を超えた年齢の方からご希望等があれば柔軟に対応する必要があると考えている。

○藤原教育委員 中学校を卒業するまでは手厚い支援が受けられるが、卒業後はその支援が受けられず、保護者が自分でNPO法人等に支援を求める等の行動を起こさなければ支援を受けることができないという場合も多いため、是非支援センターの対象年齢を広げるとことや、他機関へ支援を引き継ぐということも考えてほしい。

○村上教育部長 義務教育を終了した児童への支援については、教育センターだけでの対応では難しい部分がある。

精神保健行政の分野として、地域包括ケアセンターや保健センター等他部署があるため、教育センターだけでの対応として考えるのではなく、そういった他部署への橋渡しや連携を行いながら対応していくことを検討したい。

○中川教育委員 そういった課を超える連携については、支援を行う「いおう教室」の支援員の方も把握していないと、保護者の方への説明等を行う上で苦慮すると思う。

そのため、支援の道筋(どのように他部署と連携を行うのか等)については、検討の後、教室の支援員の方へもお示ししておく必要があると考える。

○山田教育センター所長 今後、他課との連携方法については検討を行い、その支援の道筋はしっかりといおう教室支援員へも周知する。

### 報告事項(3) 関係

○藤原教育委員 33ページの南砺市学校司書モデル事業は、元々の学校司書の方は配置されたまま、図書館司書が加えて配置されるということなのか。

○武島中央図書館長 学校司書に加えて、図書館司書を配置している。こちらは、学校と図書館のシステムが今後同一のシステムとなることもあり、学校司書と図書館司書の交流も図るために行っている事業である。

### その他

○高坂教育委員 福光南部小学校での放課後児童クラブ対応について、今年度は学童利用希望者数が多いことから福光児童館きっずらんどへバスでの送迎を行い、きっずらんどでの預かりを行っていたかと思うが、来年度はどのような対応となるのか。

○溝口こども課長 来年度については、定員25名のところ、26名から利用希望があり、全員を受け入れる。来年度は福光南部小学校内のクラブ室での預かりで対応し、学校とも連携し、小学校体育館等も利用させていただきながら、活動場所を確保していく。

午後 3 時 3 0 分、議事が終了したので教育長が閉会を宣した。

令和 5 年 月 日

南砺市教育委員会  
教育長